2026 年度　第 4 回　運営推進会議

【事業所名】特別養護老人ホームわかばイースト

【開催日時】2026 年 11 月 17 日(火)　10：00～11：00

【開催場所】特養わかばイースト会議室

【参加者】

出席者の状況	委員（職種）	（お客様代表）	（ご家族様代表）
		（地域の方代表）	（由利本荘市地域包括支援センター）
		（第三者委員）	（知見を有する者）
	職員（役職）	（特養わかば施設長）	
		（わかば会障がい統括）	
		（特養わかばイースト施設長）	
		（特養わかばイースト管理栄養士）	
		（特養わかばイースト生活相談員）	

【目的】

地域密着型サービスにおける運営推進会議は、事業者が提供するサービス内容を明確にし、地域に開かれたサービス運営を通じてサービスの質を確保することを目的としています。

◎活動状況報告

1．お客様利用推移

2026 年 10 月～2026 年 11 月

	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
10 月	6	17	6	29
11 月	6	17	6	29

平均年齢　：　90.6 歳　　最少年齢　70 歳　　最高年齢　101 歳

男女比率　：　男性 7 名　女性 22 名

平均介護度：　4.0

◎サービスの質の向上にかかる事項

２．ヒヤリハット、事故、苦情について

	10 月	11 月	合計
ヒヤリハット	3	1	4
事故	0	1	1
苦情	0	0	0

●10 月 事故（0 件）

●10 月 ヒヤリハット（転倒・転落２件・感染１件）

・ベッド脇のマットレス上に降りられていた。人感センサーの向きがずれており反応しなかった。退室時はセンサーの位置を確認する。

・リビングにて職員が食事介助中にセンサーが反応。すぐに居室へ訪室すると、立位不安定なお客様がトイレに行こうとされベッドから足を下ろされていた。

・尿道留置カテーテルを使用している方の陰部に表皮剥離部があり、便で汚染されて感染するリスクがあった。毎朝、排便の有無を確認することとした。

●11 月 事故（転倒・転落１件）

・訪室した際、床のマットレスより手前の床に仰臥位となっていた。人感センサーは反応していたがすぐに対応できなかった。痛みや外傷はなし。これまでの対応の継続と訪室時はセンサーの位置や反応を確認する。

●11 月 ヒヤリハット（外傷１件）

・清拭介助時に左肩に皮下出血があることを確認する。痛みはなし。骨折しやすく、皮膚も弱い方であった。可動域を考慮し安全な介助を行っていく。

３．レクリエーションと行事

10 月 8 月	レクリエーション・行事
8 日	干し柿作り
16 日	ミュージックケア
23 日	１０月紅葉の壁紙作り
25 日	あらまつり
26 日	ハロウィン壁紙作り
27 日	１００歳お祝い
28 日	新米おにぎり屋台
11 月	レクリエーション・行事
12 日	ボランティアレク（フラダンス）
16 日	BCP 訓練
19 日	大運動会
23 日	避難訓練（夜間想定）

４．研修・勉強会

●10 月　勉強会
・看取りターミナルケア
・エビデンスに基づくケアの展開
・口腔ケア技術研修

●10 月　外部研修
・地域ケア会議
・顔の見える関係づくり研修
・ユニットリーダー研修
・新人介護従事者定着支援研修

●11 月　勉強会
・食中毒の防止及びまん延防止に関する研修②
・BCP に関する研修
・非常災害時の対応について
・口腔ケア技術研修

●11 月　外部研修
・地域ケア会議
・高齢者のためのやさしい口腔ケア研修
・利用者の食べる力を支える食支援研修
・感染症対応力向上推進者養成研修

５．職員の状況

●介護職員・・・・・・・・・・15 名　　介護福祉士・・・・・・・9 名
　　実務者研修修了・・・・・1 名
　　初任者研修修了・・・・・5 名
●看護師・・・・・・・・・・・2 名
●機能訓練指導員・・・・・・・1 名（看護師）
●生活相談員・・・・・・・・・1 名
●管理栄養士・・・・・・・・・1 名
●管理者兼介護支援専門員・・・1 名

6. 委員会
・虐待防止検討委員会
　部門会議、ユニット会議、リーダー会議等で不適切ケアにあたる事例はなしと確認する。
・身体拘束廃止委員会
　部門会議、ユニット会議、リーダー会議等で不適切ケアにあたる事例はなしと確認する。
・見守り機器等活用委員会
　お客様の転倒予防等の対策のため、体動・離床センサーを活用し、定期的にカンファレンスを開催し、
　生活リズムの把握に努めている。
　定期的にお客様・職員向けのアンケートを実施し、負担軽減と夜間の休息時間の確保のための
　業務の流れを検討。
　機器の不具合等がないよう、定期点検を実施。

7. 地域の皆様からのご要望　ご助言

・事故について、センサー反応時の対応など職員の意識の向上にも努めてほしい。
・施設職員と利用者の方々の関係性がよく、うまく機能しているというのが伝わる。人感センサーなど電子機器の活用も取り入れながら事故を未然に防げるようにしており今後もうまく取り入れていってほしい。
・冬になって寒くなるので環境も整えていってほしい。
・インフルエンザなどの感染症が例年にない速さで広がっている。面会制限など嘱託医と相談しているとのことで、家族と会いたい気持ちに寄り添いながら「持ち込ませない」「持ち込まない」を意識していってほしい。
・避難訓練の実施や BCP の訓練など重要だと思うので、いざというときのためにしっかり計画を立てて訓練してほしい。

【次回開催予定】令和 9 年 1 月 18 日（火）10：00～